لو

「親と子のいきいきとした笑顔かがやくまち」を目指



に策定した「第2期小国町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、 子育て支援に取り組んでいます。

今回は本町における子育て支援の制度や子育て支援センターの 取り組みについて紹介し、子育て支援のあり方について考えます。

子育てに係る支援の強化、 実現に向けて~」を公表し、 政策の強化について(試案) しい社会づくりのための意識 ため国では「こども・子育て ~7年の間に少子化傾向を反 状況になるため、これから6 少子化に歯止めがかからない 転する必要があります。 入口は現在の倍速で急減し、 次元の異なる少子化対策の ビスの拡充、 2030年代になると若年 子育てにやさ

進行する少子化

ています。 たよりも早いペースで進行し 最少となり、 の出生数は約77万人で、 速に進んでいます。 日本では少子化が急 国が予測してい 令和4年

また、4月1日には子どもの 視点、子育てをしているかた の視点に立った政策を進める の視点に立った政策を進める かん はいいく姿勢を示しました。

改革など少子化問題に取り組

本町でも平成27年に「親とで支援事業計画」を策定し、子育で支がやくまち」を基本理念としがいるですがいまないができまができまができまができまができまができまができまができません。

や、地域全体で子育てを支 す。 本町では子育て家庭への支 す。 児に 子育て支援センターの 解消

また、赤ちゃんとのふれあ

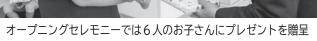
あたっています。 を選せンターを設置しました。専任の保育士を配置し、 をでは関する不安や悩み、 をでに関する不安や悩み、 をでに関する不安や悩み、 が配ごとに対する相談指導に

本年7月にはショッピング本年7月にはショッピングをレープニングセレモニーでは、遊びにきた子どもたちには、遊びにきた子どもたちには、遊びにきた子どもために

子育て支援センターが実施する「なかよし広場」は就学する「なかよし広場」は就学前の子どもと保護者が一緒に前の子どもを持つかたがたが交流にもなっています。同世代のにもなっています。同世代のにもなっています。同世代のり、子育てに対する孤立感のり、子育でに対する孤立感のり、子育では対する孤立感のり、子育でながるとともに、育に関する情報交換ができまり、子でもを持つかたがたが交流し、仲間を見つけることにより、子でもを持つかたがたが交流という。

V

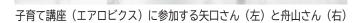








います。
います。
います。



てくれます。 フが子どもたちのお世話をしは子育てサポーターやスタッ参加できるよう、講座開講中

スタッフのかたに子どもを見 取れないため、リラックスで 加できます。育児をしている ださいました。 ると嬉しいです」とお話しく も利用してもらい、交流でき 子さんや祖父母世代のかたに ゃんよりももう少し大きいお きます。せっかくなら、 利用者が多く、情報交換がで や若いお母さん、お父さんの す。なかよし広場は赤ちゃん きるいい機会になってい て何かを作ったりする時間が と身体を動かしたり、集中し てもらえるので、安心して参 ん ーを利用している舟山里恵さ 普段から子育て支援センタ (町原)は「子育て講座は 赤ち 末

中でも、気軽に子どもと一緒ん(新原)からは、「里帰りーを利用している矢口里彩さまた、里帰り出産でセンタ

まで、 に過ごせる場所や参加できる ます」と感想をいただきまし す。なかよし広場が再開する 昼の時間は閉まってしまいま 利用したいと思いますが、 1日を通してなかよし広場を 連れて行くことができます。 ており、 講座があって助かっていま っと利用しやすくなると思い ーはとても綺麗で空調も効い ースがアスモ内にあるとも 新しい子育て支援センタ 親子で過ごせる飲食ス 赤ちゃんを安心して お

子育て世帯をサポート

全国的に核家族化が進むとともに、共働き世帯が増加しともに、共働き世帯が増加したがない」、「休みが取りづらくがない」、「休みが取りづらくがない」、「休みが取りづらくるようになりました。

保育事業に取り組んでいま境づくりの一環として病後児し、より子育てがしやすい環町では子育て世帯をサポート

こ」を開設しました。 1 月、 がら預かるもので、 で看護師と保育士が連携しな が困難な子どもを専用保育室 る事業です。 いった困った場面で活用でき 日休まなければならない」と 事が休めず自宅で保育できな 保育園を休ませたい。でも仕 ったけれども、大事をとって で利用できます。 日の午前8時から午後6時ま 童で、平日の月曜日から金曜 1歳から小学3年生までの児 小国町病後児保育室「にこに い」、「怪我をして保育園を数 集団または家庭での れは 健康管理センター内に 病気の回復期に 「熱は下が 平成30年 対象は 保育 あ

ンター事業は子育てのお手伝たファミリー・サポート・セまた、平成17年度に開始し

す。

でおり、 0) 0)経済的 無償 加えて、 歳 さらに、 化 から高 を実 化 第3子以 な支援にも取 や 施し 校生 安心して出産 町 副 では子育て世 食 まで て 費 降 1, 0) ます。 0) 0) 無償 除育料 医 I) 療 化 子 帯

てに取り

組む環境づくりを

くとともに、

地域

全体で子育

子育てするかたを支援し

7

た

事

笑顔かがやくまち」

を目指

親と子の

11

3

きと

に関 援拠 を対 子どもや家族 度 切 もやその んなサ ら から 八象に、 でする制力 方、 関係機関と連 点を設置しました。 対 国町子ども家庭総 ポ 専 応 家 令 任 1 庭、 度やサ 各家庭にあ 和 0) 1 取り からの 4 職 · を 提 ま 年度にはる 妊産! た、 員 漢を図: 組 1 を 供 相談を ピ 婦 ん 配 子 す ス つ 0) で 置 今年 0) 育 合支 た適 い 1) る 子 か し、 情 な 受 た た ま 7

> Ъ 子育てし ます。 ゃ व 目い指表 5 を て

て

育てが して ち スタオルをプレ フト支給事業や、 支給する出産・子育て応 出 5 や 産支援金、 相談・支援を行うとともに、 ん応援ギフト 赤ちゃんの できるよう伴 子育て応! ゼン 名前 出産祝 事 業も 1 ŋ す 援 L る赤 援ギ 金を なが 実 0) 11

児と仕事の両立 化する保育ニー 環境にも大きな影響を た課題が 子育ての 6 数 変化は、 年 0) が 目 ょ 0) 孤 ま らぐる 立化 難 育児 り ズ ^ しき、 層、 0) や を し 1, 対 取 浮 多 社 応 U)

て支援事業のご

会情

勢

ぼ

Ų

☆子育て講座

- ■対 象 就学前のお子さんとおうちのかた
- ■場 所 健康管理センター
- 食育、エアロビクス、ヨガ、ハンドメイド、 ■内 幼児救急講座、セルフマッサージ

き彫

1,

ま

町

ではこれ りになって

からも子ども

と

い

つ

☆子育て相談

- ■子育て相談・個別相談・訪問
 - 月~金曜日 13時~17時(事前連絡をお願いします)
- ■健康に関する相談
 - 6月・9月・12月・3月 9時~11時30分
- ■電話相談 月~金曜日 8時30分~17時

☆なかよし広場

- ■対 象 就学前のお子さんとおうちのかた
- ■場 子育て支援センター 所
- 月~金曜日 9時~11時30分・13時~16時

☆タッチケア教室

- ■対 象 生後2ヶ月~歩行前のお子さんとおうちのかた
- ■場 所 健康管理センター
- 年3回

ックスタート(年6回、3・4か月児健診時)

- 象 就学前のお子さんとおうちのかた ■対
- 所 健康管理センター

ファミリー・サポート・センター

きま

育ニー

ズに対応することが

で

度

で、 į

突発的、

時

的

な

登録

育児をサ

ポ 臨

1

す

á

利用の

どちらも兼ねっ

る

か

たが

必

を

した

たと、 るか

手伝

V >

を

要とし

7 1)

1, か

た、

協

力

子育てのお手伝いをしたいかた(協力会員)と、手 伝いを必要としているかた(利用会員)、協力と利用 のどちらも兼ねるかた(両方会員)が登録し、育児を 手伝ってもらったり手伝ったりできる制度です。

■晉 録 健康福祉課(☎61-1000)へ

小国町病後児保育室「にこにこ」

- 町内在住または保護者が小国町の事業所に ■対 象 勤務している1歳~小学3年生までの児童 (事前登録制)
- 病後児保育室(健康管理センター内)
- ■時 間 月~金曜日 8時~18時

小国町子ども家庭総合支援拠点

0歳から18歳までの子どもに関するあらゆる相談を 受け付けています。気軽に何でも相談してください。 電話相談・訪問での相談も可能です。

- ■時間 月~金曜日 8時30分~17時15分
- 健康福祉課(☎61-1000)へ ■問合先

☆健康管理センター(☎61-1000)へ ☆子育て支援センター(☎090-9015-8330)へ